

参加要領

東京会場

日時：2010年12月7日(火) 9:00-18:15 (8:30開場)
定員：300名
受講料：一般：29,400円
 会員：22,000円 (日本CFO協会会員、FE・ITフォーラム会員)
会場：経団連会館2F 国際会議場、経団連ホール



〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-3-2
TEL: 03-6741-0222 FAX: 03-6741-0233

■交通のご案内

●徒歩で：東京メトロ 各線大手町駅下車 C2b出口直結、JR 東京駅下車 丸の内北口より約10分

●お車で：新宿駅より約20分、品川駅より約25分、羽田空港より約30分(有料道路使用)

大阪会場

日時：2010年12月15日(水) 13:00-18:10 (12:30開場)
定員：150名
受講料：一般：17,640円
 会員：13,230円 (日本CFO協会会員、FE・ITフォーラム会員)
会場：ホテルニューオータニ大阪B1F ウィステリア



〒540-8578 大阪市中央区城見 1-4-1
TEL: 06-6941-1111 FAX: 06-6941-9769

■交通のご案内

●徒歩で：JR大阪環状線 大阪城公園駅下車 約3分、地下鉄長堀鶴見緑地線 大阪ビジネスパーク駅下車 約3分、各線 京橋駅より約8分

●お車で：梅田より約15分、淀屋橋より約10分、本町より約15分、難波より約20分、大阪国際空港(伊丹)より約30分、関西国際空港より約60分、阪神高速東大阪線東行き法円坂ランプから約5分、阪神高速東大阪線西行き森之宮ランプから約8分

申込締切：2010年12月1日(水) ※12月1日(水)までにキャンセルのご連絡がない場合、ご請求させていただきますのでご注意ください。

主な対象者：(一般事業法人)経営幹部、CFO、財務担当役員、財務部長、財務担当マネージャー
(金融機関)経営幹部、法人担当役員、法人担当マネージャー

特典：フォーラム参加者には経営財務情報誌「CFO FORUM」の最新号を無料進呈します。

お願い：●レコーダーなどの記録機器の持込みはご遠慮ください。
●テキスト、資料等は当日会場でお渡しいたします。参加者以外の方にはお頒けいたしません。
●参加される方のご都合が悪い場合は、代理の方のご出席をご考慮願います。

聴講証：聴講証は、当日会場受付にてお渡しいたします。

お申込はこちらまで <http://www.cfo.jp/>

(本フォーラムのお申込みはオンライン申込に限らせていただきます)

お問合せ先 ●企画内容・お申込についてのお問合せ先
日本CFO協会事務局
TEL : 03-3556-2334
FAX : 03-3556-2320
E-mail : seminar@cfo.jp

●請求書についてのお問合せ先
社団法人 金融財政事情研究会
TEL : 03-3358-0018
FAX : 03-3359-7947
E-mail : jimmu-seminar@kinzai.or.jp

「第10回 CFOフォーラム・ジャパン2010」実行委員会事務局
<http://www.cfo.jp/>

エグゼクティブのための財務・金融ネットワーク

CFO FORUM Japan

Chief Financial Officer

第10回 CFOフォーラム・ジャパン2010

“Asian Renaissance” アジア成長戦略を支える CFOの挑戦

東京会場

日時：2010年12月7日(火) 9:00～18:15 (8:30開場)
会場：経団連会館(東京・千代田区)

大阪会場

日時：2010年12月15日(水) 13:00～18:10 (12:30開場)
会場：ホテルニューオータニ大阪(大阪・中央区)

[主催]

日本CFO協会
Japan Association for Chief Financial Officers
東京都千代田区平河町2-7-1 塩崎ビル2F
<http://www.cfo.jp/>

10th
Anniversary
Go Global

社団法人 金融財政事情研究会
Kinzai Institute for Financial Affairs, Inc.
東京都新宿区南元町19
<http://www.kinzai.or.jp/>

60th
Anniversary
おかげさまで60周年

“Asian Renaissance” アジア成長戦略を支えるCFOの挑戦

リーマン・ショック以降、世界経済の軸が「西」から「東」へとゆっくりと移動し、今日、世界の市場として、中国をはじめとする「アジア」の重要性は一段と高まってきています。日本企業に限らず、回復を目指す世界経済にとっても「アジア」は今や最大の需要創出地域であり、世界の先進企業の更なる成長戦略には、「アジア」を中心としたエマージング・マーケットへの果敢な挑戦が不可欠でありましょう。

しかし、欧米企業に比べて、グローバル化への対応や自由化への取り組みに遅れが見られていた日本企業が、「アジア」における成長戦略に向けた熾烈な国際競争に勝ち残るためには、今後も様々な障壁を乗り越えなければなりません。会計基準をはじめとする各種ルールの国際標準化への対応といったテクニカルな問題にとどまらず、海外を含めたグループ企業の競争力を強化して、「アジア成長戦略」を実現するための強靱な経営力を身につけることが要請されており、そのためには、グローバル経営を前提とした次世代型のコーポレートガバナンスの確立と同時に、高次元のリスクマネジメント力の強化を急がなければなりません。

今年で10年目を迎える「CFOフォーラム・ジャパン」では、激変する経営環境下、“アジア・ルネッサンス”をキーワードに、「メイン・セッション」と「プロフェッショナル・セッション」を重層的に組み合わせ、「アジア成長戦略」に象徴される、今後のグローバル経営の在り方や課題、また、経営システムの革新を支える様々な概念や経営技術、実践的な経営管理手法について考察する機会を提供させていただきたいと考えております。

本フォーラムが、皆様の今後の経営戦略を構築する上での有益な指針を提供できるものと確信いたしております。

是非、本フォーラムへのご参加のご検討をお願い申し上げます。

2010年11月

日本CFO協会 理事長 行天 豊雄
社団法人 金融財政事情研究会 理事長 山口 公生

基調講演

東京会場：9:15～10:15

大阪会場：13:15～14:15

日本のモノづくりの未来

世界で環境関連市場が大きく拡大しており、環境技術で優位にあるわが国は大きなチャンスを迎えている。しかし、経済成長が低迷しているわが国の製造業は新興国との激しい戦いを強いられており、将来の成長シナリオが描けていない。製造業が、円高や税制などの足枷で世界の競合と対等な条件で競争できていない現状を紹介し、現在のシャープの取り組みを紹介しつつ、日本の産業政策やモノづくり企業の経営戦略について提言する。

町田 勝彦 (まちだ かつひこ) 氏

シャープ株式会社 代表取締役会長

1943年6月22日大阪府生まれ。66年京都大学農学部卒業後、69年早川電機工業株式会社(現在のシャープ株式会社)入社。84年電子機器事業本部テレビ事業部長、87年取締役国内営業本部副本部長、90年常務取締役家電事業統轄。92年から98年の専務時代に海外事業本部長、海外統轄、家電事業、国内営業などの担当を歴任し、98年6月代表取締役社長に就任。2007年代表取締役会長、08年代表取締役会長兼CEO、10年より現任。



CFO講演 <日英同時通訳あり>

東京会場：10:15～11:15

大阪会場：14:15～15:15

成長戦略成功の鍵を握るCFOの挑戦

世界金融危機を契機とした戦後最悪の景気後退という事態を経て、いま日本企業の多くが更なる成長戦略へと立ち向かっている。こうした状況の中で、企業戦略の成否を分ける重要な役割を担うのがCFOであるが、克服しなければならない課題が数多く立ちはだかっているのが現実だ。ロイヤル・ダッチ・シェルと昭和シェル石油の事例をもとに、成長戦略に挑む日本のCFOのヒントとなる具体的な手掛かりを提供する。

リチャード・エー・カールス (Richard Carruth) 氏

昭和シェル石油株式会社 取締役副社長, CFO

昭和シェル石油株式会社、取締役副社長、CFOとして、Royal Dutch Shell 社より外向。ソーラーフロンティア株式会社の取締役、Shell Japan Trading 株式会社の代表取締役社長にも従事している。Royal Dutch Shell 社の主要なビジネスにおいて上級経理、財務担当役員として活躍。主に、財務的、戦略的経営管理者として主要ビジネスに携わり、重要な企業合併、買収、譲渡にも従事。シェルの拠点のあるサンフランシスコ、ヒューストン、ロンドン、サウジアラビア、シンガポールにて勤務経験あり。現在は、東京に在住。ユタ大学経済学部卒業後、ヒューストン大学大学院にてMBA取得。米国CMA取得。



ランチョン・スピーチ

東京会場：12:00～12:45

ベトナムの日本語による 複式簿記普及活動について

大武 健一郎 (おおたけ けんいちろう) 氏

元国税庁長官/大塚ホールディングス株式会社 代表取締役副会長

1946年東京都出身。東京大学卒業後、大蔵省(現財務省)入省。大阪国税局長、大臣官房審議官、国税庁長官を歴任。退官(平成17年)後は、商工組合中央金庫副理事長、大塚製薬顧問を経て、現在、大塚ホールディングス株式会社代表取締役副会長。【現職】大塚ホールディングス株式会社 代表取締役副会長、ベトナム簿記普及推進協議会 理事長、TKC全国会 会長、関西大学 経営審議会委員・客員教授、ビジネス・ブレークスルー大学大学院 客員教授、税務大学校 客員教授、人事院 公務員研修所 客員教授、東京工業大学大学院 非常勤講師、京都大学CKプロジェクト評価委員、北京 中央财经大学 名誉教授、昭栄株式会社 社外取締役、リクルート株式会社 経営諮問委員会 委員、私学審議会 特別委員。【著書】「データで示す日本の大転換『当たり前』への回帰」(かんき出版 平成17年)、「税財政の本道」(東洋経済新報社 平成18年)、「平成の税・財政の歩みと21世紀の国家戦略」(納税協会連合会/清文社 平成18年)、「大変! ～その原因と対応～」(かんき出版 平成21年)



特別講演

東京会場：16:15～17:15

アジア域内における、リスクのマネジメントと 金融機能の提供について

日本の経済成長とアジアはどうとらえればいいのか アジア域内の内需拡大と経済統合を、金融・投資・産業連関のネットワーク(系)として捉える。その上で、日本の金融機能とアジアへの日系企業の進出(OUT)とアジア諸国企業の日本市場への上場促進(IN)を考える。 ・アジア市場とジャパンマネーの現状 ・アジアにおける日本市場の位置づけ ・内外企業の資金調達と、多様なファンド組成能力 ・日本市場へのアクセスコストの削減

大西 又裕 (だいさい またひろ) 氏

横浜市立大学 特別契約教授/ライフネット生命保険株式会社 取締役

1951年山口県生まれ。74年に大蔵省入省。97年から企業財務課長、99年経済企画庁計画課長、2001年から国税庁審議官などを経験。07年退職し、ベンチャー企業の立上に参画。08年から横浜市立大学特別契約教授。



パネルディスカッション

東京会場：17:15～18:15

戦略的課題に向けたCFOの挑戦

サーベイ結果からCFOが語る、グローバル深化の時代に求められるCFO・CFO組織の姿と実現

日本CFO協会と実施した「財務マネジメントサーベイ：戦略的課題に向けたCFOの挑戦」の調査結果を解説するとともに、実際に様々な戦略的課題に挑まれているCFOの方々にご登壇いただき、企業を取り巻く環境のグローバル化がいよいよその深度を増していくなか、企業が生き抜き、勝ち残るために、いま、そしてこれから、CFOは何をすべきか、どうあるべきかについて、パネルディスカッションを行う。

内田 章 (うちだ あきら) 氏

東レ株式会社 常務取締役 財務経理部門長

高原 宏 (たかはら ひろし) 氏

武田薬品工業株式会社 コーポレート・オフィサー 経理部長

三田 慎一 (みた しんいち) 氏

花王株式会社 取締役 執行役員 会計財務部門統括 EVA担当

萩倉 亘 (はぎくら わたる) 氏

デロイト トーマツ コンサルティング株式会社 CFOサービス パートナー

日置 圭介 (ひおき けいすけ) 氏

デロイト トーマツ コンサルティング株式会社 CFOサービス シニアマネジャー

パネリスト



内田 章 氏



高原 宏 氏



三田 慎一 氏



萩倉 亘 氏



日置 圭介 氏

進行・解説

特別講演

大阪会場：17:10～18:10

専門人材の育成と活用に向けて

専門化・多様化する経営環境の変化に向けて、失われた「30年」とならないよう、日本企業は専門人材の育成と活用に大至急取り組む必要がある。会計・財務の専門人材の必要性が叫ばれながらも、なぜ日本企業に会計・財務の専門人材が育たないのか、CFOにとっての課題を確認するとともに、実行に向けたアクションプランを考えてみたい。

石田 正 (いしだ ただし) 氏

日本CFO協会主任研究委員/公認会計士

元日本マクドナルド株式会社 代表取締役副社長 (CFO) /元セガサミーホールディングス株式会社 専務取締役 (CFO)

1972年から25年間、アーンストアンドヤング及び朝日監査法人(あずさ監査法人)にて日本及び米国基準の会計監査、財務アドバイザー業務に従事、代表社員。監査法人在籍中に通算10年間、シンガポール及びロンドン事務所に駐在。1996年以降、日本マクドナルド代表取締役副社長(CFO)、セガサミーホールディングス専務取締役(CFO)を歴任。2010年より現職。「国際会計基準IFRS完全ガイド」(日経BP社)への寄稿、「日経BP国際会計基準フォーラム」講師など、セミナー講演多数。



2010.12.7 (火) 東京会場プログラム	
8:30	開場
基調講演 9:15～ 10:15	日本のモノづくりの未来 町田 勝彦 氏 シャープ株式会社 代表取締役会長
CFO講演 10:15～ 11:15	成長戦略成功の鍵を握るCFOの挑戦 リチャード・エー・カルース 氏 昭和シェル石油株式会社 取締役副社長, CFO 日英同時通訳あり
11:30～	昼食会：CFOランチ
ランチ スピーチ 12:00～ 12:45	ベトナムの日本語による 複式簿記普及活動について 大武 健一郎 氏 元国税庁長官/大塚ホールディングス株式会社 代表取締役副会長
13:00～ 13:50	セッション1 (選択制・先着順・2会場)
14:05～ 14:55	セッション2 (選択制・先着順・2会場)
15:10～ 16:00	セッション3 (選択制・先着順・2会場)
特別講演 16:15～ 17:15	アジア域内における、リスクのマネジメントと 金融機能の提供について 大西 又裕 氏 横浜市立大学 特別契約教授/ライフネット生命保険株式会社 取締役
パネル ディスカ ッション 17:15～ 18:15	戦略的課題に向けたCFOの挑戦 サーベイ結果からCFOが語る、グローバル深化の 時代に求められるCFO・CFO組織の姿と実現 内田 章 氏 東レ株式会社 常務取締役 財務経理部門長 高原 宏 氏 武田薬品工業株式会社 コーポレート・オフィサー 経理部長 三田 慎一 氏 花王株式会社 取締役 執行役員 会計財務部門統括 EVA担当 萩倉 亘 氏 デロイト トーマツ コンサルティング株式会社 CFOサービスパートナー 日置 圭介 氏 デロイト トーマツ コンサルティング株式会社 CFOサービス シニアマネジャー

注意：プログラムの内容は事前のご案内無く変更となる場合がありますことをご了承ください。

2010.12.15 (水) 大阪会場プログラム	
12:30	開場
基調講演 13:15～ 14:15	日本のモノづくりの未来 町田 勝彦 氏 シャープ株式会社 代表取締役会長
CFO講演 14:15～ 15:15	成長戦略成功の鍵を握るCFOの挑戦 リチャード・エー・カルース 氏 昭和シェル石油株式会社 取締役副社長, CFO 日英同時通訳あり
	プロフェッショナル・セッション 専門セッションを開催
15:30～ 16:20	セッション 1
16:20～ 17:10	セッション 2
特別講演 17:10～ 18:10	専門人材の育成と活用に向けて 石田 正 氏 日本CFO協会主任研究委員/公認会計士 元日本マクドナルド株式会社 代表取締役副社長 (CFO) 元セガサミーホールディングス株式会社 専務取締役 (CFO)

注意：プログラムの内容は事前のご案内無く変更となる場合がありますことをご了承ください。

東京プロフェッショナル・セッション	
セッション1 / 13:00-13:50	
グローバル企業における経理財務変革 企業成長を支える最適化戦略とCFOの役割	
本年発表された世界1,900名以上のCFOへの調査報告書「IBM Global CFO Study」からの示唆とともに、グローバル企業における最適化戦略「Globally Integrated Enterprise」の取り組み状況と、経理財務分野における今後の展望、またグローバル化を進める上でのポイントなどを紹介する。	
	松尾 美枝 (まつお みえ) 氏 日本アイ・ピー・エム株式会社 グローバル・ビジネス・サービス事業 戦略コンサルティンググループ Operations&Finance パートナー 日本アイ・ピー・エムでSEとしてシステム開発・導入を担当。その後、大手 監査法人勤務、上場会社米子子会社経理責任者を経て、帰国後はIBMビ ジネス・コンサルティングサービス(現日本アイ・ピー・エム グローバル・ ビジネス・コンサルティングサービス)にて、様々な企業の会計システム構築・経理業 務変革・内部統制プロジェクトに従事。税理士、米国公認会計士、公認内 部監査人、公認内部システム監査人。
成長の成否と生き残りをかけた 日本企業のアジア戦略とグローバル最適 多極化する市場における経営の実態とあるべき姿	
3極中心の経済からアジアを含むグローバル多極化が進む中、日本企業のアジア 展開は現地生産によるコスト競争力思考から脱却出来ていない。新たな時代の継 続的成長の鍵は、現地固有のリスクを軽減しつつ成長に不可欠な、グループ戦略 の意思決定に関するガバナンス強化と、現地最適な業務プロセスの共存である。 それらを支えるオラクルの経営管理ソリューションを、事例交えて紹介する。	
	関 孝 (せき たかし) 氏 日本オラクル株式会社 コンサルティングサービス統括 インテグレートソリューション推進統括本部 ソリューション担当 シニアディレクター 大学院修了後大手総合食品会社、外資系コンサルティング会社等を経て日 本オラクル株式会社に2010年入社。連結経営やグローバル管理会計やグ ローバルサプライチェーンの構想から構築を多数実施。
セッション2 / 14:05-14:55	
グローバル競争を勝ち抜く経営システム	
円高、国内市場の飽和、進む海外移転そしてIFRSを背景に、経営のグローバ ル化が叫ばれて久しいが、日本企業のグローバル化はいまだ進んでいない。全世界 に展開される経営資源を最大活用するためには、経営の可視化が必要だ。経営者 がタイムリーに情報にアクセスし、ビジネスの予測を可能にする経営システムとは？ グローバル経営を支える経営システムのあるべき姿について語る。	
	渡邊 達雄 (わたなべ たつお) 氏 株式会社シグマックス パートナー 国内大手監査法人系コンサルティング会社を経て、1996年に現IBMビ ジネスコンサルティングサービスに入社。グループ経営、財務会計、リスク マネジメント領域のサービスにおける責任者を歴任し、2004年日本IBM にてBTO 事業ソリューションパートナーなどを歴任。09年2月より現職。 主著に「会計イノベーション」(日経BP社)、「企業変革のためのアウトソー シング」(東洋経済) など。
IFRSプロジェクトを成功させる人材戦略 IFRSに代表される社内プロジェクトを成功させる人の活かし方	
IFRS対応に代表される社内プロジェクトを成功させるための決定要因は何だろう か？ 社内プロジェクトのマネジメントを「人」という切り口から分析し、最適なプ ロジェクトチームの規模、構成、そして、プロジェクトチームメンバーが最大限の 能力を発揮し、プロジェクトがスムーズに進行する戦略を実例を交えて解説する。	
	茶田 佳世子 (ちやだ かよこ) 氏 リソース・グローバル・プロフェッショナル・ジャパン株式会社 クライアント・サービス・ディレクター 国内大手監査法人および外資系ITサービス企業を経て入社。監査法人で は自動車メーカーの監査を担当。米国留学後、外資系ITサービス企業で M&A、子会社設立、整理・統合、アライアンス締結、子会社・関係会社 戦略策定に関わる。早稲田大学卒業、デポール大学大学院会計学修士。 公認会計士。
セッション3 / 15:10-16:00	
アナリティクス(分析力)を活用した 次世代経営管理モデルの構築	
変化が早く複雑化するグローバルビジネス環境において、企業には経営判断をよ り適切かつスピーディに実施できる経営管理モデルの構築が求められている。企 業内外の情報に対する網羅的かつ多面的な分析を経営管理モデルの核とし、経営 管理力強化に資するAnalyticsについて解説する。	
	福田 政浩 (ふくだ まさひろ) 氏 アクセンチュア株式会社 経営コンサルティング本部 財務・経営管理 グループ パートナー 慶應義塾大学商学部卒業、アンダーセンコンサルティング(現アクセンチュ ア株式会社)に入社。製造業、流通業を中心に企業統合、M&A、組織・ 業務改革、内部統制、予算・業績管理、グループ連結経営等のコンサルティ ングやシステム構築に従事。講演、寄稿多数。
なぜ日本企業はグローバル化が苦手なのか？ 右脳と左脳で考えるグループ・マネジメントの要諦	
次世代への成長戦略を考える上で、グローバル市場への対応、それを見据えたグ ループ経営強化は多くの企業にとって喫緊の課題となっている。しかし、その実 現には多くの困難が伴う。何が取り組みを阻んでいるのか？ すぐに使えるチェッ クリストや具体的なケーススタディも駆使しつつ、右脳＝企業の意味、左脳＝ 経済的利益の追求、といった多面的な視点から実効性ある解決策を考察する。	
	松田 千恵子 (まつだ ちえこ) 氏 ブーズ・アンド・カンパニー エグゼクティブ・ディレクター マトリックス株式会社 代表取締役 日本CFO協会主任研究委員 株式会社日本長期信用銀行にて国際審査、海外営業等を担当後、ムー ディーズジャパン株式会社格付けアナリストを経て、株式会社コーポレイ トディレクションにてパートナーを務め、現在に至る。企業の経営・財務 戦略構築、グループ経営、M&A等の支援に豊富な経験を持つ。「グルー プ経営入門」、「成功するグローバルM&A」等、著書・講演多数。

*大阪会場は選択はございません。

大阪プロフェッショナル・セッション	
セッション1 / 15:30-16:20	
グローバル競争を勝ち抜く経営システム	
円高、国内市場の飽和、進む海外移転そしてIFRSを背景に、経営のグローバ ル化が叫ばれて久しいが、日本企業のグローバル化はいまだ進んでいない。全世界 に展開される経営資源を最大活用するためには、経営の可視化が必要だ。経営者 がタイムリーに情報にアクセスし、ビジネスの予測を可能にする経営システムとは？ グローバル経営を支える経営システムのあるべき姿について語る。	
	渡邊 達雄 (わたなべ たつお) 氏 株式会社シグマックス パートナー 国内大手監査法人系コンサルティング会社を経て、1996年に現IBMビ ジネスコンサルティングサービスに入社。グループ経営、財務会計、リスク マネジメント領域のサービスにおける責任者を歴任し、2004年日本IBM にてBTO 事業ソリューションパートナーなどを歴任。09年2月より現職。 主著に「会計イノベーション」(日経BP社)、「企業変革のためのアウトソー シング」(東洋経済) など。
セッション2 / 16:20-17:10	
なぜ日本企業はグローバル化が苦手なのか？ 右脳と左脳で考えるグループ・マネジメントの要諦	
次世代への成長戦略を考える上で、グローバル市場への対応、それを見据えたグ ループ経営強化は多くの企業にとって喫緊の課題となっている。しかし、その実 現には多くの困難が伴う。何が取り組みを阻んでいるのか？ すぐに使えるチェッ クリストや具体的なケーススタディも駆使しつつ、右脳＝企業の意味、左脳＝ 経済的利益の追求、といった多面的な視点から実効性ある解決策を考察する。	
	松田 千恵子 (まつだ ちえこ) 氏 ブーズ・アンド・カンパニー エグゼクティブ・ディレクター マトリックス株式会社 代表取締役 日本CFO協会主任研究委員 株式会社日本長期信用銀行にて国際審査、海外営業等を担当後、ムー ディーズジャパン株式会社格付けアナリストを経て、株式会社コーポレイ トディレクションにてパートナーを務め、現在に至る。企業の経営・財務 戦略構築、グループ経営、M&A等の支援に豊富な経験を持つ。「グルー プ経営入門」、「成功するグローバルM&A」等、著書・講演多数。

協賛企業 (掲載各企業名50音順)

リード・スポンサー

SIGMAXYZ IBM ORACLE

プラチナ・スポンサー

accenture Deloitte トーマツ
ハイパフォーマンスの実現へ

booz&co. RESOURCES GLOBAL PROFESSIONALS

ゴールド・スポンサー

sas